

たじま 夢つうしん

第30号
2022.2

但馬って
楽しい!!

つながる

但馬夢テーブル委員会

新たな地域ビジョン「但馬地域ビジョン2050」を令和4年3月に策定

現行の地域ビジョンの策定から20年が経過し、社会も大きく変化していることも踏まえ、令和4年3月に新たな地域ビジョンを策定します。
現行ビジョンと同様に住民・地域団体、企業、行政がお互いに連携・協力しながら新たな地域ビジョンの実現を目指します。

※令和4年1月時点の案となります

2050年 但馬の未来の姿

『つながる、**たからじま** ～みんなで創る^{つく} ワクワク但馬～』

「たからじま」には、「但馬から（未来へ・世界へ）発信する」、「但馬カラー（色・らしさ）を大切にする」という想いを込めています。

めざす5つの地域像

2050年の但馬の未来の姿を示す5つの地域像です。

地域像Ⅰ

世界に誇る魅力を
継承し、世界に輝く
新たな魅力を
創造する地域

地域像Ⅱ

垣根を超えた
新たな人との
交流・つながりを
実現する地域

地域像Ⅲ

多様性を認め合い、
誰もが輝き
夢の実現にチャレンジ
できる地域

地域像Ⅳ

次代を担う若者や
子どもたちが
イキイキ育ち
暮らす地域

地域像Ⅴ

生活環境が
充実した
暮らしやすい地域

問合せ先 発行/但馬夢テーブル委員会

事務局:但馬県民局 地域政策室 協働推進課

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 TEL 0796-26-3647 FAX 0796-23-1476



03但馬P2-006A4

あしたのふるさと但馬 ～コウノトリ翔る郷～



但馬夢テーブル委員会とは

「こんな但馬にしたい!」といった、但馬の将来像を描いた地域ビジョン(夢)の実現を目指し、行政主導型ではなく、私たち住民が自主的な活動をボランティアで企画・実践する委員会です。

2001年度に始まった第1期から、現在の第10期までの間に、のべ841人の委員が「魅力あふれる但馬」、「輝き続ける但馬」を目指して活動してきました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちは持続可能な社会を目指すSDGsも意識し活動しています。

第1期～第10期までの委員数(再任含む)			
第1期(2001～02年度)	105人	第6期(2012～13年度)	62人
第2期(2003～04年度)	101人	第7期(2014～15年度)	75人
第3期(2005～06年度)	103人	第8期(2016～17年度)	56人
第4期(2007～08年度)	113人	第9期(2018～19年度)	55人
第5期(2009～11年度)	102人	第10期(2020～21年度)	69人

但馬地域ビジョンとは

但馬地域の住民一人ひとりが但馬の「夢」を描き、その実現に向けて何ができ、何をしていくべきか、知恵を集結して形にすることを趣旨として策定されたものです。

委員会活動

～チームごとの活動だけでなく、委員会全体での活動も行っています～

全体会

夢テーブル委員全体で定期的に集まって、グループワークや各チームの活動報告を行い、活動のブラッシュアップを図りました。



たじま夢フェスタ

令和2年度たじま夢フェスタでは、「但馬のめざすべき将来像を描く」をテーマに、夢テーブル委員や地域住民の方とともに、2050年にめざすべき将来像を話し合い、発表しました。



大人の放課後

『但馬は遊ぶところも若者が集まる場所も無い…』
『毎日家と会社の往復だけ…』
そう思う但馬の大人、意外と多いのでは？

私たち『大人の放課後(通称:おとほー)』は、但馬内のサークル・団体・イベントの情報を取りまとめ、Instagramで紹介しています。又、今年度からは、「但馬情報特急」内「ふるさと特派員」として、情報発信の記事も掲載しています。

但馬で暮らす社会人にとって、
・職場でも家庭でもない、いわゆる“大人の放課後”の場をさがす
・新たな仲間をつくる
・但馬の新しい過ごし方を見つける

但馬で活動するサークルにとって、
・活動を更に盛り上げるためのPR
・メンバー募集等の場

こんなふうな、但馬のひとにとって、地元の暮らしをより楽しくするきっかけになるよう、私たちは発信していきます!



集まれ!但馬のサークル!

Instagramアカウントはこちらから!
QRコードをスキャンするか、
『あつまれ!但馬のサークル』で検索してくださいね。



但馬力高め隊



【但馬力高め隊】は「但馬を深掘り&再発見」をテーマに、選んだ観光資源・観光地域について、その歴史や背景をあらかじめメンバーで情報共有し、「現在はどのように地元の方々の生活に根付いているのか」「その魅力をどういったところに発信しているのか」など探求して参りました。

現地では自分たちで視察するかたわら、必ず1カ所は現地ガイド・もしくは学芸員さんなどから専門的なお話を伺うよう手配。“楽しく勉強”を体現できた2年間でした。

また、ガイドブックレベルの情報収集だけではもったいないと、但馬検定1級取得を目標に掲げ、皆で取り組みました。「まずは但馬人である私たちから知ろう&発信してみよう」を合い言葉に、探訪先を但馬情報特急のホームページにも寄稿しました。

【高め隊】としての活動は卒業になりますが、この2年間で培った「好奇心を満たす探究心」をさらに磨き、あまたある発信方法を利用して、これからも但馬の魅力を求め続けたいと思います。



天日槍プロジェクト実行委員会

伝承によると但馬には渡来神 天日槍（アメノヒボコ）によって古代製鉄文化が伝えられ、南北朝時代には法城寺一門と称される刀工集団が隆盛することになります。

本プロジェクトは但馬の「古代製鉄文化」と「刀剣文化」の検証を目的に発足致しました。

関連施設を訪ねた情報収集によると神鍋火山近郊で採取される砂鉄はチタン含有率が高く融点も高温で、火力の低い「古代」の製鉄には不向きなものでした。そこで神鍋火山から距離を置き天日槍を祀る出石神社や刀工集団が拠点とした法城寺が立地することを根拠に、当プロジェクトでは出石町を中心とした地域で但馬の古代製鉄文化が発達した推察致しました。

そして法城寺では刀工集団が作刀した薙刀が残されており、その古い伝承を限られた文献から独自に調査しておられました。

今後、当プロジェクトはこれらの伝承を手掛かりに但馬で新たなコミュニティを育て、世界に発信できる伝統を活用した町作りを模索したいと考えています。

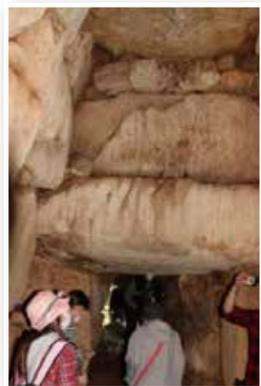
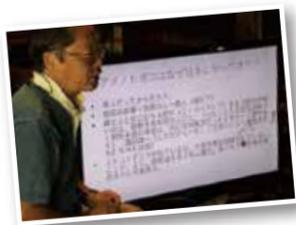


たじま夢ちゃんねる

たじま夢ちゃんねるでは、但馬の豊かさを伝えていく活動をしています。今期は但馬のあまり知られていない豊かな歴史に焦点を当て掘り下げ、たくさんの情報をお伝えしました。

南但馬の古墳探検では、北近畿最大級の横穴式石室がある大藪古墳群などの王墓を巡りました。北但馬の歴史探訪では、城崎の温泉寺や香美町の有馬皇子伝説を追ったりしました。

古代天皇にルーツを持つ氏族の痕跡が多くあり、日本神話にも登場するスサノオ命、大国主命、天火明命、天日槍命などその後裔氏族（蘇我氏、物部氏、海部氏、日下部氏他）がいた但馬はヤマト黎明期の立役者であり、天皇家の後（竹野姫、神功皇后など）の実家、母系に深く関わります。



日本の成り立ちと日本人の信仰の歴史、そして日本の王（天皇）の正体、ヤマト建国を背後から促していた中心勢力はタニハ（但馬、丹波、丹後、若狭）だということ。古代但馬と日本の王、謎解き古代史『日本 [ヤマト] の礎を築いた但馬 文明に抗った人びとの物語』と題して、人気歴史作家の関裕二先生に講演頂きました。但馬からYouTube 配信。是非ご覧ください。

https://youth.be/f9_d-eFdYEI



里山ミツバチプロジェクト

私たちのチームは、日本古来の在来種の日本ミツバチを増やすことで農業・環境保全に貢献することを目標に、新しい巣箱の作成やトラップの仕掛けにチャレンジし日本ミツバチが自由に飛び交う環境をつくる活動をしています。

春

我々メンバーにとっては、一番楽しみにしている時期です。みな童心に返り、子供のようにはしゃぎながら、目標に向かって活動を始めました。

暖かくなると、新居を求めて日本ミツバチの偵察蜂が待ち箱にやってきます。1匹が2匹、3匹とだんだん数を増やし、しばらくすると、数千匹の群れになって一気に箱に入ります。我々メンバーは、毎日何回も連絡を取り合い、状況確認に追われ、盛り上がる頃です。

6月～9月にかけて

ミツバチたちは活動のピークを迎え活発に働き、24時間フル稼働です。箱の中はミツバチで溢れかえっています。まさに絶頂期です。

私たちは、毎日観察を続け、ハチノスツリガやアカリンドニ対策で内検をします。そして、ミツバチを襲うスズメバチから巣を守ります。

10月～12月にかけて

今年の集大成として、採蜜をしました。秋も深まり、天敵のスズメバチも数が減り、気温が10度くらいに下がると、いよいよ冬越しの準備です。ミツバチたちは、小さな箱の中で体を寄せ合い、体温を30度くらいに保ちながら、春を待ちます。私たちが来春に向けて準備を始めています。



但馬いかそう会

但馬いかそう会は但馬に有る資源（観光、食材や海洋）を活用しようという趣旨でメンバーが集まりました。とりわけ水資源に着目し小水力発電にチャレンジしています。



これまでは1期2年で、1年は地形に合わせた水車作り、2年目はその力に合わせた発電機づくりを行っていましたが、今期は村岡の板仕野にある現役の水車を利用して頂く事が出来、それは直径2メートル程の大きなもので精米や粉ひきに活用されていました。

1分間に8～10回転していましたのでチェーンやVベルト歯車（スプロケット）を使い回転を54倍し発電機を毎分500回転させ12.5V（ボルト）3A（アンペア）発電させる計画でした。ところが接続すると発電負荷や伝達ロス等で300回転まで下がってしまいました。発電機をその回転に合わせて改良しました。次はVベルトが滑り出したのでその対策を行いました。その次は長時間運転するとチェーンや歯車が摩耗してしまうので強化を図りました。等々メカの専門家がいなくて不具合が発生する度に対策に手間取りましたがようやく12.5V、2Aの出力迄到達し照明やバッテリー充電に活用出来るようになりました。



キャリア・コネクト

人は、他者や社会との関りの中で様々な役割を担いながら生きており、その役割を果たすことを通して自分の価値を見だし、自身を成長させます。



チーム『キャリア・コネクト』は、中高生が様々な役割を疑似体験すること（夢へのチャレンジ）をサポートし、地域社会とのつながりが持つ価値に気づいてもらい、広い視野を持てるよう活動しています。

具体的には、高校生の探究活動のサポート、大学生が高校生に自らの体験を語る交流会、高校生が本音を言い合うサミット、選挙への理解を深めることを目的とした勉強会（議員さんを交えての意見交換）などの活動を行いました。



楽しい田舎キャンパス

「ひふり農園」の役割

4年前、兵庫県環境学習養成講座を受け、なにか活動しなければと思っていた時、荒れ果てた休耕田が目に入ってきた。20年前に多額の公的資金と個人負担をかけて圃場整備された農地であるが、背丈ほど伸びたすすきが生息し野生の鹿がすみかにしている。なんてもったいないことだ。この休耕田の再生は、地域の大切な財産を守り、里山の環境・景観も守れる。更に人との交流、地域の方の役割も作れば居場所作りに繋がると信じ活動。

楽しい田舎キャンパスでは再生した休耕田に「ひふり農園」と名付け、春には苗の植え付けを実施。秋には収穫祭を開き、野菜の収穫・調理・野菜ゲーム・魚のつかみ取り・薪で炊飯食事…と、40~50人の参加で静かな里山は大人も子どもも歓喜の声が溢れた。現在、土の中にミズも住み土壌は良好。神仏花木・いちじく・さんしょの他、薩摩芋・ピーマン・パレイショ・白菜・大根も試験栽培。健康野菜のヤーコンも栽培。

「夢を実現し未来に繋ぐ」



但馬の日本酒を知る

私たちのチームは「但馬の日本酒」に注目し、但馬内外に発信することで、地域の活性化や観光に繋がりたいと考えています。コロナ禍でなかなか取材が出来ませんでしたが、酒蔵の紹介やお酒・酒粕を使ったお菓子、日本酒の楽しみ方などをまとめたマップ「但馬の水鳥 Vol.1」を令和3年12月に発行しました。但馬内の酒蔵や道の駅などに配布しています。

令和4年3月上旬には「但馬の水鳥 Vol.2」を発行する予定です。楽しみにしてください。



~手を取り未来へつなぐ~ おむすびの会



『みんなで子育て』をテーマに、多様な世代が共に育ち、寄り添える地域社会を目指し活動をして参りました。1年目はオンラインをメインに、子育てについて語り合う機会を多く設けましたが、子育てにおいて本当に大切にしたい繋がりは、やはりオンライン上だけでは難しいことにも気づき、2年目は対面での交流に重きを置きました。

その結果、お母さんたちの『やってみたい!』を応援する形が生まれ、未来を語る会・防災カフェ・ミライマーケットへの出店・但馬の夏遊びMTG・ビーチクリーンなど、様々な会を催すことができました。また、地域の企業様や学生さん、更には豊岡市ファミリーサポート事業とのコラボ企画も実現しました。

おむすびの会がきっかけとなり新たな出逢いが生まれ、チャレンジしたいお母さんが増え、地域をより良くしたい、安心して子育てできる環境や助け合いの輪を、私たち子育て世代から広げたいという声や、会を重ねるごとに大きくなっていった2年間だったように思います。

子育てには終わりがありません。ニーズや形は子供の成長と共に変化していきますが、このおむすびの会で学んだこと、経験したことを次に繋げていけるよう、任期後も持続可能な形を目指して参ります。



SLGs



“SLGs”とは“SDGs”という国連が掲げた目標を、日常生活に取り入れようと『持続可能なライフスタイルの提案』という意味で名付けました。

『笑顔でいられる未来のために、今から笑顔を始めよう』をコンセプトに立ち上がった本グループは、環境だけではなく、広く視野を

持ち、一人一人のあり方を大切に活動の軸としています。

集まったメンバーそれぞれが、自分の興味関心の深い意見を持ち寄り交わされるミーティングは、毎回テーマが違えど、行き着く先は皆同じという、大変不思議で面白い有意義な時間となっております。

時節柄思うように活動ができず試行錯誤をしておりますが、これもまたプレゼンで掲げた「今私ができることをやる」という言葉にも通ずる、必要な時間なのかもしれません。

今後もSDGsに関する様々なテーマを持ち寄りながら『本当に大切なものは何なのか』という意見交換ができる場を継続して作っていきたいと思います。



Online×REAL



新たなコミュニケーションの場づくりを極めてゆきたいとの想いから、様々なスタイルのオンラインカフェを開催してきました。

ワーク型、学び型に大きく分けられますが、進行方法や役割分担、合図などを常にアレンジ。実体験を繰り返し、運営技術を高め、それぞれがまた別のコミュニティで活かす事で、社会を良くしたいです。



BookTalk

世の中の人々の活字離れが危惧される昨今、私達は本の面白さや魅力を再発見し、自らのライフスタイルへ役立てられるきっかけとなることを目指し、生活の中で活用できそうなコンテンツを選び、読書会や映画鑑賞会を行いました。

読書会は一冊の書籍を、章立てを区切りとしてバラバラにした上で、集まった人数6~7名に割り振り、一斉に担当ページを読み進めるというスタイルで実施しました。

各自で読んだ内容をまとめ、感想を含めて順番に発表することにより、一冊の本の肝となる部分を短時間でシェアでき、それぞれの価値観を通じたアイデア、ひらめき、気付きを持ち帰っていただくことができました。

映画鑑賞会は、SLGsチームと合同開催で行いました。映画の鑑賞は各自都合のつく上映時間で鑑賞してもらい、後日集まり、感想や気付きをシェア合いました。

チームの設立と活動時期がコロナ禍であり、リアルで行う事がなかなか難しく、実質2回の開催にとどまりましたが、コロナが収まり平常時に戻れば、もっと活性化していくものと思われれます。

有意義な記憶に残る時間となりました。



但馬夢テーブル委員会の歩み

巨木百選マップづくり

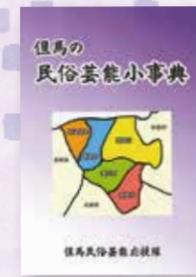
但馬巨木保存会



「たじま夢つうしん」表紙(10号～)

地域での伝統行事・民俗芸能の復活・継承への支援

但馬民俗芸能応援隊



県民行動プログラム (1期～5期)

- ### 1期 (H13～14)
- 但馬ブランド会議の創設
 - 巨木100選のマップづくり
 - 観光資源の沿道表示(看板)の検討・整備
 - 陸(JR・バス)・海(船)・空(飛行機)をネットした交流の仕組みの創設
 - 但馬まちづくり人フォーラムの実施
 - ごみゼロ但馬の実現に向けた行動の展開
 - 環境学習実践団体等のネットワークの形成と学習ネットワークプログラムの検討
 - 地域での伝統芸能の復活・継承への支援
 - 障害のある人・高齢者・青少年を結ぶトライアングル・ネットワークの形成
 - 男性の意識改革を進める男女共同参画フォーラムの開催

- ### 2期 (H15～16)
- 巨木百選マップづくり
 - 映像で但馬を発信
 - 山陰海岸国立公園を世界の公園にしよう
 - 但馬まちづくり人フォーラムの実施
 - ごみゼロ但馬の実現に向けた行動の展開
 - 環境学習団体のネットワークの形成と学習プログラムの検討
 - 地域での伝統行事・民俗芸能の復活・継承への支援
 - 花いっぱい運動
 - 障害のある人・高齢者・青少年を結ぶトライアングル・ネットワークの形成
 - 男女共同参画セミナー・フォーラムの開催

- ### 3期 (H17～18)
- 次世代会議-但馬の星づくり
 - 但馬まちづくりセンターの創設
 - 但馬の近代化遺産の調査・マップづくり
 - 但馬の観光による活性化・多彩な交流促進
 - 但馬の川と峠の物語
 - 食の安全・安心と農業
 - 環境に優しい生活-5R生活の推進-
 - 森・川・海の再生
 - ふるさと音楽祭「たじまのうたまつり」
 - 地域の助け合いのネットワークづくり
 - 地域防災力の向上

- ### 4期 (H19～20)
- 次世代ネット
 - 但馬地域づくり応援ネット
 - 但馬の観光による活性化・多彩な交流促進
 - 但馬の川と峠の物語
 - 但馬の民家探訪
 - 森・川・海の再生
 - ふるさと音楽祭「たじまのうたまつり」
 - 食の安全・安心
 - 地域の助け合いのネットワークづくり
 - 地域防災力の向上

- ### 5期 (H21～23)
- 次世代ネット
 - 夢ある田舎暮らし応援隊
 - 小規模集落元気村プロジェクト
 - 但馬の民家探訪
 - 但馬の自慢話発信隊
 - 森・川・海の循環
 - 但馬の食再発見
 - 但馬パープルネット
 - ゆめ防災福祉

実践活動 (6期～10期)

- ### 6期 (H24～25)
- 活気あふれる人づくり・街づくり(若者の居場所づくり、世代間交流を深めるための活動)
 - 但馬いかそうめん(但馬の過疎・自然・人をいかす、を合言葉に小水力発電に着目)
 - 但馬古民家探訪(古民家をもとに但馬の人たちの生活を研究)
 - タジマモリあげ隊(お菓子で但馬を盛り上げる取り組みを展開)
 - 気兼ねない(奇抜な)但馬一円ルート観光! (観光客誘致方策の検討)
 - 自然ゆめ探検隊(但馬の自然の良さを再発見・新発見)
 - 但馬の食・農業ブランド(食・農業の活性化、但馬の食のブランド化を目指す)
 - 夢創塾(高齢者居住環境整備の方向性を示す)

- ### 7期 (H26～27)
- 但馬いかそうかい(但馬の過疎・自然・人をいかす、を合言葉に小水力発電に着目)
 - 但馬古民家探訪(但馬の財産となる古民家の保存と活用について勉強)
 - タジマモリあげ隊(お菓子で但馬を盛り上げる取り組みを展開)
 - 神社・仏閣を知ろう!(但馬の神社仏閣を巡って学びながら発信)
 - 自然ゆめ探検隊(但馬での自然体験活動を通じて魅力を発信)
 - 但馬食物語(但馬の食にまつわる歴史的な物語や現状を発信)
 - 愛する但馬(防災や健康づくりをテーマに世代間交流を進める)
 - 高校ドリーム調査隊(但馬で頑張る高校生を応援)

- ### 8期 (H28～29)
- 但馬いかそうかい(但馬の過疎・自然・人をいかす、を合言葉に小水力発電に着目)
 - 但馬古民家探訪(古民家の暮らしを学び、魅力を再発見し、活かし方を提案)
 - タジマモリあげ隊(お菓子で但馬を盛り上げる取り組みを展開)
 - 但馬魅力GO!(あまり知られていない但馬の観光地を発信)
 - SGE～たじま(地域資源の魅力を学術的な視点から捉え発信)
 - 自然ゆめ探検隊・冒険隊(但馬での自然体験活動を通じて魅力を発信)
 - 但馬食物語(但馬の食にまつわる歴史的な物語や現状を発信)
 - 子ども体験プロジェクトU(子ども達が地域の魅力と出会い、学ぶ機会を提供)

- ### 9期 (H30～R1)
- 但馬いかそうかい(但馬の過疎・自然・人をいかす、を合言葉に小水力発電に着目)
 - 但馬夢観光～あるある観光発掘・発信隊～(観光資源を発掘し、但馬内外へ発信)
 - たじまちゃんねる(但馬のヒト・コト・モノのストーリーを発信)
 - 但馬コネクトコネクト(但馬で暮らす大人のサードプレイスづくり)
 - 楽しい田舎キャンパス(自然を活かした里山の再生と休耕荒地の再活用)
 - 自然の保護と農村を活性する会(隠れた特産物を掘り起こし振興を図る)
 - Girls,Boys and ... (但馬で育つ子ども達が多様な価値観に触れられる機会を提供)
 - 今を生きる～プロジェクトfamily～(但馬のパパママに子育て応援の場を提供)

- ### 10期 (R2～3)
- 但馬いかそう会
 - たじまちゃんねる
 - Online×REAL
 - 但馬力高め隊
 - 但馬の日本酒を知る
 - 大人の放課後
 - BookTalk
 - SLGs
 - 里山ミツバチプロジェクト
 - 楽しい田舎キャンパス
 - 天日槍プロジェクト実行委員会
 - キャリア・コネクト
 - ～手を取り未来へつなぐ～おむすびの会
 - チーム dots (但馬のすばらしさをYouTubeで発信)
 - プラタジマ(但馬を散策しながら、地域に隠れた身近な地域資源を再発見)
 - club1984+ (本音にこだわり、企画力を考えるワークショップを実施)
 - 但馬ONラインマーケット(オンラインを活かした元気な地域づくりを目指し、リアルとオンラインを併用したバザーを開催)



スイーツ高校生バトル タジマモリあげ隊



地域の達人大集合 子ども欲張りバスまる 子ども体験プロジェクトU

これまでの「たじま夢つうしん」はこちらからご覧いただけます!

